



30度を超える暑い日が続く7月30日(土)、公民館中央ホールで、「子どもクラフト教室」を開催し、ハーバリウム作りを行いました。

ハーバリウムとは、瓶にドライフラワーや植物素材を入れ、専用のオイルに浸して作る、透明感のある鮮やかなインテリアの1つです。

講師に、JHA日本ハーバ



瓶の中で材料が浮かない詰め方を教わります

リウム認定講師で地元・竹花の伊藤明美先生を迎えて、小学生20人が参加しました。

材料は、ドライフラワーなどのほかに、貝殻やキラキラ光るラメ素材、白や青色の砂などが多く、どんなふうに組み合わせようか悩みながら、瓶に入れていく。なかなか思う位置に置けず悪戦苦闘したり、コツを教え合ったりしながら、素

## ビンの中は自分だけの海を

みんな上手にできました



どれを使って作ろうかな



バランスを見ながら、ピンセットで材料を配置していきます

材を狙った位置にセットしていく。配置が決まったら、オイルを静かに注ぎ、ハーバリウムの完成です。

さらに今回は、瓶に海の生き物のシールを張って、海や水族館などをイメージした、夏らしい涼しきなハーバリウムに仕上げました。



飾って眺めるのもいいですが、お気に入りのシールに張り替えたりして、おうちでも楽しんでもらえたらうれしいです。

夏にぴったりのハーバリウム



## 地元の魅力再発見

市内巡る シニアいきいきセミナー

コロナ禍で遠出が難しい状況だからこそ、市内の施設を巡ろうと、7月27日(水)、シニアいきいきセミナー第2回学習会で移動研修を行い、14人が参加しました。

石ノ森章太郎ふるさと記念館(中田)では、手塚治虫氏や赤塚不二夫氏らのマンガ家とともに、下積み時代を過ごしたアパートを再現したトキワ荘や、石ノ森章太郎氏の生家などを見学。



大迫力のとよま秋祭りの山車



懐かしい作品の原画なども見られます

身近ゆえにこれまで見逃していた、登米市内の風景や文化などにじっくりと触れることができ、住んでいる地域の魅力や良さを改めて感じるいい機会につながったようでした。

第3弾

# 自由に遊んで楽しく交流

## sports & cafe

7月30日、花の公園グラウンド(野球場側)で、3回目のスポーツ&カフェを開催しました。

このイベントは、都合に合わせた好きな時間にスポーツやワークショップを楽しみながら、みんなでおしゃべりしましょうというもので、11人が参加しました。

当日は暑いながらも、時折吹く風が心地のいい運動日和。子どもたちは準備していたミニサッカーをした



バランスボールも意外と人気です



材料をぐるぐる混ぜると…ビローンと伸びるスライムの完成！！

レンジしました。

インクを調合して好きな色を付け、ラメを加えたら、キラキラのオリジナルスライムの完成です。

参加者からは、「楽しかったのでまた来たい」「いろいろなことができて、とても良い」など、たくさんのおれしい声をもらいました。

また来月開催を予定していますので、皆さん花の公園グラウンドへぜひ遊びに



来てくださいね。お待ちしています。

ふにふに、もちもちの触感が気持ちいいよ！

## 北大生が「よさこい」の片付け

今年も残念ながら中止となってしまった「よさこい&ねぷた」。豪快な演舞を披露する予定だった、北海道大学「縁」のメンバー13人がひょっこり豊里を訪れ、よさこい実行委員と交流を深めました。

合間には、イベントの中止で行き場を失っていた看板の片付け作業を、手際良くあつという間に



片付け作業のお手伝い、暑い中ありがとうございました

やり遂げてくれました。

リーダーの小林さんは、「よさこいの中止はとても残念で、悔しい気持ちでいっぱいでしたが、来年へのモチベーションに変え、また豊里のみなさんの前で演舞できるのを楽しみにしています」と笑顔で話し、豊里を後にしました。

縁の皆さん暑い中ありがとうございました。